



校 訓 「自 主」 「勤 労」 「規 律」 「情 操」
学校教育目標 「自ら学び、互いに協力してやり抜く生徒の育成」

り よ う き よ く
菱 旭

気仙沼市立階上中学校
学校だより 第12号
令和5年1月26日

新年度の「0学期」

校長 一丸孝博

大寒を迎え、一年の中で最も寒さが厳しい季節となりました。「ここを乗り越えればやがて暖かい春がやってくる」と自分に言い聞かせています。春が待ち遠しい昨今です。

昨年中は本校の教育活動に保護者の皆様、地域の皆様から温かいご支援をいただき、誠にありがとうございました。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

2学期の再開日となった今日10日のオンライン集会で、次のような話をしました。

「植物に例えてみますと、兎年は、芽を出した植物が生長していき、茎や葉が大きくなる時期と例えられます。今年はまさに『飛躍』、『向上』の年です。新年を迎え、皆さんも『今年はこの年にしたい』『こんな自分になりたい』というふうに、夢や目標を立てたことと思います。どうかその思いを大切にしてください。今日から3月末までの期間は、令和5年度の『0学期』。4月からの令和5年度に最高のスタートを切ることができるようには、この0学期をいかに過ごすかが鍵となります。目指す自分の将来像を見据え、そして足下を見て、夢や目標の実現のために今なすべきことを着実にやる、そんな毎日を送ってほしいと思います。そのためには、『今、自分がなすべき事は何か』をしっかりと自覚することが大切です。『今年はこの年にしたい』→では、どうすればいい？『こんな自分になりたい』→では、何をすればいい？誰かから与えられるのではなく、自分で探して、自分で見つけ、自分で実行していく、そういう姿勢を大切にしてください。」

「1月は行く。2月は逃げる。3月は去る。」と言われるように、年度末の3ヶ月、学校では卒業や進学、進級の準備に追われ、大変慌ただしい時期になります。ですが、生徒にとってはそれぞれの学年の最終章であると同時に、新しい年度のスタート、すなわち次の学年への序章の時期です。その意味から「0学期」という言葉を贈りました。この大切な時期、慌ただしさに紛れてしまわないよう、一日一日を大切に過ごすことの大切さを伝えながら、学校での教育活動のあらゆる場面で、意識を「新しい学年」に向けさせ、生徒の活動を支援していきたいと考えています。

そして、自分自身を高めるための取組に加えて、他者との関わりも大切にさせたいと考えています。私たちが夢や目標の実現に向かうとき、時として自分本位になり、自分だけの問題で他者には関係ない事として捉えがちですが、一人では生きていくことのできない私たちにとって、それは周りの人との関わりなしにはできないことです。「自分の成長の陰には周りの人の支えがある」ことを意識させ、周りの人への感謝や、人のために役立つことの喜びを実感させながら、今年度を締めくくらせたいと考えています。

今後、「3年生を送る会」、そして「卒業式」という、大切な行事が予定されています。自分自身のこれまでの成長を振り返り、夢や目標に向けて志を新たにする機会であり、また、これまで築いてきた仲間との絆に目を向け、感謝の気持ちを深める機会であるということを生徒と共有しながら、よりよい行事となるよう、事前指導を行っていきたくと考えています。御家庭でも引き続き、お子様への励ましをよろしくお願いいたします。

2月 行事予定

日	曜	学校行事	給食	部活
1	水	安全点検	○	×
2	木		○	○
3	金	入学説明会	○	○
4	土			
5	日			
6	月	授業参観・学年懇談 学校運営協議会	○	×
7	火		○	○
8	水	3年生を送る会、一斉研修日	○	×
9	木		○	○
10	金	3年2学期期末テスト① 漢検	○	○
11	土	建国記念の日		
12	日	地方音楽祭		
13	月	3年2学期期末テスト②	○	○
14	火		○	○
15	水	委員会活動	○	×
16	木		○	○
17	金	数検	○	○
18	土			×
19	日			×
20	月	職員会議 5時間授業	○	×
21	火		○	×
22	水	1・2年2学期期末テスト①	○	×
23	木	天皇誕生日		×
24	金	1・2年2学期期末テスト②	○	○
25	土			
26	日			
27	月	生徒集会	○	○
28	火		○	○

入賞おめでとう

(敬称略)

宮城県アンサンブルコンテスト

管打楽器八重奏 銀賞

ユネスコスクール東北ブロック大会

参加賞 2年 菅原美莉

校内席書大会

校内書きぞめ展毛筆の部金賞受賞者8名が参加し、地区審査会出品作品を書き上げました。地区審査会の結果は後日お知らせいたします。

校内書きぞめ展金賞 (敬称略)

1年 千葉心、平田樹生

2年 菅原美莉、平田一冨

3年 小野寺優向、畠山智花

三浦鳳斗、佐藤翔真



気仙沼市防災フォーラム

生徒と地域住民が交流しながら気仙沼のこれからの防災を考えるフォーラムに、本校から2年の平田一冨さん、及川結愛さんが参加し、学校の取組を発表したり、意見交換をしたりしました。この経験を来年度の学習の深まりにつなげてほしいと思います。

